

FENICE SACY CALENDAR 2022

今年いちばんの出会いを、劇場で。

フェニーチェ堺

FENICE SACY

大ホール ライブショー 島崎うめ ディノ・カミヤバ DINO-A-LIVE 4月30日(土) ①開演10:30 ②開演13:30 ③開演16:30	大ホール CLASSIC 高橋ちと子&加羽沢美濃 カジュアルクラシック meets 命のうた交響会 5月22日(日) 開演15:00	大ホール CLASSIC 大和延喜グループ Presents 伝承楽団(指揮) 本間真由(ピアノ) 新日本フィルハーモニー交響楽団 50周年記念交響会 6月1日(水) 開演19:00	大スタジオ CLASSIC 音楽のあるひととき Vol.8 6月3日(金) 開演14:00	大ホール 伝統芸能 鼓童 ワン・ア・ス・ア・2022 6月12日(日) 開演15:00
小ホール CLASSIC 原 由莉子 ピアノ&トークコンサート 8月19日(金) 開演14:00	小ホール 伝統芸能 ワカ de ワカ フェニーチェ文楽 9月27日(火) 時間未定	大ホール CLASSIC ロンドン交響楽団 サー・サイモン・ラトル指揮 10月1日(土) 開演16:00	大ホール CLASSIC 山下洋輔&鈴木優人 究極のピアノリサイタル 10月2日(日) 時間未定	大ホール CLASSIC 相模コンサート・響・2022 10月8日(土) 9日(日) ①開演12:00 ②開演17:00
大ホール 伝統芸能 坂東玉三郎 11月3日(水・祝) 時間未定	大ホール CLASSIC NDR北ドイツ放送 フィルハーモニー交響楽団 11月20日(日) 時間未定	大ホール CLASSIC ニューニウ ピアノリサイタル2022 11月23日(水・祝) 時間未定	大ホール OPERA NISSAY OPERA 「セリアの理髪師」 12月3日(土) 開演14:00	小ホール CLASSIC 川口成彦フォルテピアノ リサイタルシリーズ 12月17日(土) 1月21日(土) 時間未定

最新の公演情報はフェニーチェ堺HPをご覧ください。都合により、曲目・公演内容が変更になる場合がございます。

チケット購入先

WEB購入 (詳細は下記をご覧ください) https://www.like.com	電話・窓口購入 (詳細は下記をご覧ください) https://www.eplus.jp	チケットぴあ(Pコード) https://www.pia.jp	未就学児 入場不可
---	---	--	----------------------------

チケット購入方法

※ご購入いただいたチケットは公演中止を除き、変更・キャンセルはできません。 ※紛失・破損等いかなる場合においても再発行はいたしません。 ※WEB購入・電話予約での発券・配送には所定の手数料がかかります。

WEB購入 6:00~翌2:00 検索	チケット購入ページ sacyメイトへの登録が必要です 検索	セブンイレブン ファミリーマート 配送 ※配送は組合加盟店でのみ受け付けます
--	--	--

窓口 直接購入 9:00~20:00 一般発売日の翌日より 残席がある場合のみ販売	フェニーチェ堺 堺市立桐文化会館 堺市立東文化会館 アルテペル <small>(堺市立東文化会館)</small>
--	---

TEL: 072-223-1000 FAX: 072-223-1005
 堺市東区橋町2-1-1 南海高野線「堺東」駅徒歩8分 休館日: 第1・第3月曜(祝日の場合は開館)および年末年始
 TEL: 072-296-0915 FAX: 072-291-7993
 堺市南区山台2-1-2 東北高速鉄道「南・美木多」駅前 休館日: 月曜および年末年始
 TEL: 072-230-0134 FAX: 072-230-0138
 堺市東区北野山1084-136 南海高野線「北野山」駅直結 休館日: 水曜(祝日の場合は開館)および年末年始
 TEL: 072-383-8888 FAX: 072-383-0070
 堺市東区島山167-1 南海バス(美木多夜間前)バス停前 休館日: 第2・第4月曜(祝日の場合は開館)および年末年始



フェニーチェ堺

堺市堺区錦橋町2-1-1
 南海高野線「堺東」駅から
 徒歩8分



巻頭特集

堺で味わう有名オーケストラ!

日本×ドイツ×イギリス ~素敵なクラシック小旅行~

2022
vol.18



フェニーチェ堺季刊誌 <2022 vol.18>

編集:フェニーチェ堺(堺市文化振興財団) / (株)トリプル・オー
 発行:(公財)堺市文化振興財団 〒590-0061 堺市東区橋町2-1-1
 TEL: 072-223-1000/9:00~20:00 第1・第3月曜休館 FAX: 072-223-1005

目次

- 2 目次
- 3 ペンと劇場
- 4 2022年 フェニーチェ堺 主な公演ラインナップ
- 5-7 巻頭特集 堺で味わう有名オーケストラ! 日本×ドイツ×イギリス
- 8-9 公演情報
- 10-11 文化講座ほか
- 12-13 地域のイベント情報ほか
- 14-15 ふれる堺

『表紙について』

指揮者:佐渡裕 ピアニスト:反田恭平

6月1日(水) 19:00 大ホール

『大和証券グループ Presents 佐渡裕(指揮)/反田恭平(ピアノ)

新日本フィルハーモニー交響楽団50周年記念演奏会』

フェニーチェ堺で多くの公演に出演している佐渡裕氏は、クラシックの楽しさを草の根活動的に啓もうし、後進の育成にも意欲的に取り組んできました。その背中を見て触発された多くの若手アーティストが、国内外で活躍していますが、その中でも今、最も注目されているピアニストが反田恭平氏です。昨年のショパンコンクールでの輝かしい功績はもちろんのこと、自身でジャパン・ナショナル・オーケストラを立ちあげ、奈良を拠点に世界にむけて活動を開始。一ピアニストという枠を飛び出し、クラシックの可能性を追求しています。

ある種の師弟関係とも言えるような絆のある二人が、6月1日フェニーチェ堺大ホールで行われる『大和証券グループ Presents 佐渡裕(指揮)/反田恭平(ピアノ)新日本フィルハーモニー交響楽団50周年記念演奏会』で共演します。この公演は、新日本フィルにとっても50周年という、渾身の力が注がれた記念ツアーとなっています。

※詳しくは特集ページP5～P7をご覧ください。



無音という演奏 作家 門井慶喜

映画『ニュー・シネマ・パラダイス』シネマ・コンサート 1月16日公演

フェニーチェ堺で映画を見た。名作『ニュー・シネマ・パラダイス』おもしろいのは音楽だけ生演奏だったことである。

つまり舞台上空にスクリーンがあって、その映像に合わせて本物のオーケストラがバイオリンを響かせ、トランペットを鳴らし、ティンパニをとどろかせる。最近流行のシネマ・コンサートというやつだ。

何しろ映像と音楽の進行があんまり一致しているの、こっちも一瞬、ほんと映画館でのように音楽もスピーカーから出てくるんじゃないかと錯覚してしまったのだが、しかしやっぱり映画館とはちがう。この音のふくらみ、とげとげしさのなさ、生演奏しか得られないものだった。

もっとも、映画というのは、音楽が鳴りっぱなしではない、せりふや効果音だけで進行するシーンも多いので(せりふや効果音はスピーカーから出る)、そのときオーケストラは何をしているか。

何もしていない、ように見える。私はスクリーン上のストーリーを追いつつ、ときどき舞台へ目を向けたのだが、木管も金管も動かないし、弦楽器も打楽器も動かない。

指揮者である栗田博文氏に話してからが、こちらに背を向けたまま身じろぎもしないのである。まあ「不動の指揮者」というのも自体が通常のコンサートではお目にかかれないうけだけれど、しかしそういう希少価値をさしひいても、氏の背中には絵になっていた。

まるで居間にのぞむ侍のような、とても形容したらいいだろうか。どの瞬間にでも動き出せるぞという緊張をはらんだ静かさ、きまりのよさ。そうしてスクリーン上の映像が一般するや、氏の刀が、ではない、氏の棒がおもむろにゆれて空間が破れる。ふたたび音が流れだす。彼らは何もしていなかったのではない、無音という演奏をしていたのである。

見終わったときの感動がストーリーのそれなのか、音楽のそれなのかは私自身よくわからなかったが、しいて区別することも

ないだろう。私はシネマ・コンサートでしかあり得ない視覚と聴覚の複雑な体験に満足しつつ、椅子を立った。今回の会場である大ホールの椅子は、背面も、座面も、すいこまれるような深い赤だった。

いかにも古典的というか、おちついた華やきのある色だけれど、これが一歩ホールを出たとたん劇場の印象ががらっと変わるのも気分がよかった。建物自体がコンクリート打ちっぱなしの、色よりもデザインで見る現代建築であるために、何かしら、夢の先にもうひとつ夢があるような感じがしたのだと思う。この浮き立つ心のまま正面入口を出て、公園を出て、夕陽のなか、きあとこへ食事しに行こうか……。

さて、最後に問題です。これはホールを出る前のことだが、ふつうのコンサートなら演奏終了後にアンコールがある。いったん舞台から消えた指揮者がまたあらわれて、お辞儀をして、演奏者たちが楽器をかまえて……あの祝祭的な習慣は、今回の場合はどうだったか。

何しろ拍手は鳴りやまないのである。放ってはおけない。だからいくら何でも映画を再上映するわけにはいかないし、かといって映画と何の関係もないプログラムをやるのもおかししい。

正解はみなさん、ぜひ劇場でたしかめてください。【了】



信長、鉄砲で君臨する 村松 好野発売中

天文十二年、種子島に鉄砲が伝来した。この時、領主・種子島時義は日本も植民地化に守る選択をした。今後、鉄砲は「賈」ののではなく「作」の道と。その道、京都に出会った幼少時の織田信長は、弟・小倉がらみ天下取りを断念する。以来、信長帝に断念を併せ、弟の商人・今井兼次に力盡き退き、戦場で戦た信長を認め、築城の方法まで受けた一武士の魂を指さす、ヨーロッパ文明を最大限に活用した信長と新しい道を歩み始めた日本を描く

門井慶喜

1971年生まれ、同志社大学卒。2003年に『キダツバネ』で第42回オール讀物推理小説新人賞を受賞。15年『東京特大本戦官戦』が第153回、第16回『東京、江戸を渡る』が『月刊文芸』で第155回読水文学賞に、同年『ツルカバ・セブツルカバ』で第69回日本推理作協会賞(評論その他部門)を受賞。18年『銀河鉄道』で第158回読水賞を受賞。著書に『かなん』(東京、10年)ほか多数。

2022年 フェニーチェ堺 主な公演ラインナップ

うらかな日差しと共に春告鳥の鳴き声が聞こえ始める季節。
今年度も、色とりどりのコンサートや舞台が次々にフェニーチェ堺へとやってきます。
そのなかから、現時点で公開できる公演情報をお届けします！
未定/未発表の情報も順次公開していきますので、どうぞご期待ください。

※掲載情報は3月23日現在のもので、内容が変更となる場合があります。



FENICE SACY LINE UP 2022

巻頭特集

堺で味わう有名オーケストラ!

日本×ドイツ×イギリス ～素敵なクラシック小旅行～

毎年、国内外から著名なオーケストラがやってくるフェニーチェ堺大ホール。

今年の堺をあとやかに彩ってくれるのは、日本・ドイツ・イギリスで活躍するスペシャルな音楽家たちです。

日本を代表する指揮者の佐渡裕を皮切りに、ヨーロッパで注目を集める名匠アンドリュウ・マンゼ、イギリスが誇る大指揮者サー・サイモン・ラトル。

ソリストには昨年のショパン国際ピアノコンクールで快挙を成し遂げた反田恭平、ドイツ・ピアノの正統継承者として名高いゲルハルト・オピッツ。

巨匠・小澤征爾が生んだオーケストラ「新日本フィル」に、楽聖ベートーヴェン生涯の地ドイツで確かな演奏に定評のある「NDR北ドイツ放送フィル」、世界の有力オーケストラに名を連ねる「ロンドン響」。

さあ、ユーラシア大陸をひとつ飛びする音楽の旅にでかけましょう!

インタビュー: 崔 文殊 (新日本フィル)、ゲルハルト・オピッツ (ピアニスト)



©Concerto Wittenstein

*Classical music
with a nice trip*



佐渡裕 指揮/反田恭平 ピアノ 新日本フィルハーモニー交響楽団

2022年に創立50周年を迎えた新日本フィルハーモニー交響楽団。世界的指揮者の小澤征賢を中心に設立され、東京都豊田区の「すみだトリフォニーホール」を拠点とする同楽団は、初代の音楽監督として当時20代前半の小泉和裕を、第3代音楽監督に30歳をいくつか越えたばかりのクリスティアン・アルミンクを起用するなど、若い力にチャンスを与えてチャレンジングな音作りをしています。50周年を記念して実施したクラウドファンディングでは目標金額の500万円を大きく上回る約800万円の支援を受け、ベートーヴェンの全交響曲集をCDリリース。熱心なファンに支えられ続けています。

■ 新日本フィル&指揮者・佐渡裕

4月にミュージックアドバイザーに就任し、6月の専攻公演で指揮棒を振る佐渡裕とは何度も共演を重ねてきた関係。2023年からは音楽監督に就くことが決まっています。振り返れば、1989年プザン国際指揮者コンクールで優勝した若き日の佐渡裕が期旋後にプロデビューを果たしたのは新日本フィルであり、演奏曲は今回のプログラムにあるベートーヴェン「交響曲 第7番」でした。「佐渡さんはテレビのイメージ通りに気さくで茶目な人です」と、新日本フィルで長くソリスト・マスターを務めるウイヨリスの菅文雄（チェムンス）氏。人を惹きつけてやまない佐渡裕との新たなパートナーシップに目を輝かせました。「僕の憧れで大恩人の小澤征賢先生が作ったオーケストラとがっちり手を組むことに気合が入っています」と語る佐渡裕とのマリヤージュに期待が高まります。

■ 佐渡裕&ピアニスト・反田恭平

佐渡裕が今回のソリストに指名したのが、昨年の第18回ショパン国際ピアノコンクールで日本人として歴代最高位タイの2位に51年ぶりに輝き話題を集めた、ピアニストの反田恭平。国内外でいくつも共演し成功を収めた2人の信頼関係はゆるぎないものです。本年1月にこの名コンビと東京でベートーヴェン「皇帝」

を演奏した新日本フィル。人気実力ともにトップクラスの指揮者/ピアニストと「色んなものを出し合い、チャレンジしていくなかでどういう発展が生まれるのか。とても楽しみです」と、これからの公演に向けて崔氏は意欲をのぞかせました。

■ ベートーヴェン ピアノ協奏曲第5番「皇帝」&交響曲第7番

「まるでステーキとお寿司と一緒に食べようという、今回のプログラムの豪華さをユーモラスにとれた崔氏。『どちらもきっとどこかで聴いたことがある曲で、佐渡さんと反田さんとも観客の視点で考えることのできる音楽家だから、演奏会が初めての方でも楽しんでもらえると思います。電気ではなく空気を通じて聴く生演奏は格別で、オーケストラの息遣いを感じながら、音楽が心と体に入ってくる感覚を味わってもらえたら嬉しいです』と、話してくれました。帯に初登場となる新日本フィル。佐渡裕×反田恭平という日本屈指の才能とともに、最高のベートーヴェンを響かせてくれることでしょう。

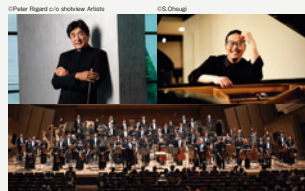
6/1 (水) 19:00 大ホール

大和証券グループ Presents

佐渡裕 (指揮) / 反田恭平 (ピアノ)

新日本フィルハーモニー交響楽団 50周年記念演奏会

チケット発売日: 4月9日 (土)



©Peter Rieger

©S. Onishi

©K. Matsuda

アンドリュー・マンゼ 指揮/ゲルハルト・オピッツ ピアノ NDR北ドイツ放送 フィルハーモニー交響楽団

ゲルハルト・オピッツ プロフィール

1953年西ドイツのフランクフルトに生まれる。5歳からピアノを始め、11歳でコンサートデビュー。1977年に第2回ルビンシュタイン国際ピアノコンクールで優勝。世界を駆け巡り、これまでに20以上の演奏会の通算回数は2,575回にのぼる(2022年2月現在)。演奏会が無いときは山や森など自然の中で散歩をしたり、オペラやシンフォニックなものを聴くなど音楽を勉強する時間を持っている。



©HT, PCM

■ ゲルハルト・オピッツ特別インタビュー

—NDR北ドイツ放送フィルとの共演について

1977年に「ベートーヴェントリプルコンチェル」で共演し、次に1991年、92年と2度ブラームスのピアノコンチェル第1番を弾きました。リハーサルも本番もとても良かった印象が残っています。ただ、そこから30年近く経っているので、メンバーも変わり若い世代がどんな音作りをしているのか、今から私も楽しみです。ラジオから流れてくる音はエクセレントでしたよ。

—指揮者アンドリュー・マンゼについて

彼はヴァイオリニストとしても古楽の演奏に長けた人です。バロックなどの古楽演奏法を非常に熱心に研究している人。まだ一緒に演奏をしたことはないけれど、良い意味で「サプライズ」になるのではないかと思います。彼は指揮者としても古典の時代の作品に情熱を傾けています。そういう意味ではベートーヴェンもその中に入るので、共演はおもしろくなりそうですね。

—ベートーヴェンピアノ協奏曲第5番「皇帝」について

今までは5番は250回くらい演奏をしています。私の心に近い作品で、心から愛している作品です。スコアが何でも色んな要素で変えられますし、今回の指揮者とオーケストラとの共演は良い意味で驚きがいっぱいあるでしょう。5番は解散の余地が広くあり、可能性が限りある作品です。そして何より大切なことは、聴衆の音楽家にも説得力のある演奏を聴いてもらえるかどうか、心に響く演奏であるかどうかです。

—場での演奏について

帯へは初来日の時に訪れました。23歳のときです。1976年頃でしょうか。まだ演奏した曲目も覚えていますが、ハイドンのソナタ52番、ベートーヴェン「111番」、リストソナタを弾いたことを覚えていますが、間違えてはいないと思います。それ以降は帯を再訪したことはありません。今回は2回目の再訪で、評判がとても良いと聞いている新しいホールで演奏させてもらえることは大きな喜びであり、光栄です。オーケストラとの再会も帯との再会も楽しみです。その頃には今の状況がより良くなっていることを願っています。

サー・サイモン・ラトル 指揮/ロンドン交響楽団

■ 来日公演ラストツアー

名貴格にエリザベス女王を戴き、「女王陛下のオーケストラ」として知られるロンドン交響楽団。世界最初期の自主運営オーケストラとして1904年に発足して以来、ロンドンおよび英国オーケストラの中心的存在として、いまも足跡を刻み続けています。指揮者のサー・サイモン・ラトルもまた世界屈指の存在で、約16年にわたってベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者と芸術監督を務めたあと、2017年にロンドン響の音楽監督に就任しました。今回の来日公演は、そのラトルとロンドン響にとつてのラストツアーとなり、並々ならぬ意気込みが伝わってきています。本公演については次回の特集で詳しく取り上げる予定ですので、楽しみにお待ちください。

—お客様へのメッセージをお願いします

来てくださるお客様の魂(心)に届き、楽しむことができる演奏をしたいと思っています。ベートーヴェンは聴衆に新たなインスピレーション、あるいは精神的に高揚感を与えてくれる音楽です。悲しみや日々の問題を抱えた状態の方も多くいらっしゃると思いますが、皆さんのそういったものを越えた感情を味わうのが音楽の素晴らしいところではないでしょうか。文化や音楽は、人生を生きる価値のあるものにしてくれる。生きる意味を与えてくれる。たどっているだけ、毎日同じ繰り返しをしているだけでは得られない充実感、音楽は与えてくれる。人生を豊かにしてくれるのも音楽家だと思います。

11/20(日) 時間未定 大ホール

NDR北ドイツ放送 フィルハーモニー交響楽団

指揮: アンドリュー・マンゼ
ピアノ: ゲルハルト・オピッツ
日: ベートーヴェン「ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」」は
チケット発売予定

©Andrius Monse, NDR



サー・サイモン・ラトル 指揮/ロンドン交響楽団

10/1 (土) 16:00 大ホール

ロンドン交響楽団 サー・サイモン・ラトル指揮

詳細未定

©Clifford Whitting



Classical music
with a nice trip

ライブショー
大ホール

恐竜ラポ! ディノ・サバイバル DINO-A-LIVE

4月30日(土) 開演10:30/13:30/16:30

目の前に超リアルな恐竜出現! 本物とは思えない等身大の恐竜たちが力強く歩き、叫び、体をくねらせて戦う姿に大興奮間違いなし! 映像を受けた楽しい解説や客席参加型のクイズで、あこがれの恐竜と一緒に調査・研究しよう。
「エデュケーション(教育)」+「エンターテインメント(娯楽)」の恐竜エデュテインメントライブショーへようこそ!



撮影OK



好評発売中

S席3,900円 A席2,900円 ダイナミックシート5,900円

主催:建栄テレビ/中京テレビ/キーボードマジックシステムズ/フューニエール 制作:株式会社ON-ART

3歳以上有料、2歳以下は観覧料無料(ただし座席が必要な場合は有料)

W S U E CN 646-998 55663

CLASSIC
大ホール

高嶋ちさ子&加羽沢美濃

カジュアルクラシックス meets

ゆかいな音楽会

5月22日(日) 開演15:00

ヴァイオリニスト高嶋ちさ子と作曲家・ピアニスト加羽沢美濃が、楽しいトークと共にクラシックの魅力をお届けします。

好評発売中 6,500円 主催:キョートアジア 共催:フエニエール

W S U E CN 211-959 53843

伝統芸能
大ホール

創立40周年ツアー

鼓童ワン・アース・ツアー

2022~童

6月12日(日) 開演15:00

1981年ベルリン芸術祭でのデビュー以来、52の国と地域で6500回以上公演を行い、多ジャンルのアーティストとの共演や国際芸術祭、映画音楽等でも絶賛されている。
「生命の音、魂の躍動」をテーマとした多彩な太鼓の響きをご堪能ください。

演出:【第一幕】聲、三宅、二和加、南風、海鳴り
【第二幕】神歌、興、独美、いのち、大太鼓、屋台囃子

好評発売中 S席5,800円 A席4,800円 B席3,800円

主催:フューニエール 企画・制作:北前館

W S U E CN 210-758 53727

CLASSIC
大スタジオ

音楽のあるひととき Vol.8

祈りの曲、メシアン

6月3日(金) 開演14:00

大阪交響楽団のメンバーとお届けする気軽に楽しめる「1時間(ひととき)」。
音楽と空間で感じる、心穏やかな時間

【作曲】エルガー:愛の挨拶、メシアン:世の終わりのための四重奏曲

【出演】大阪交響楽団 四重奏

原田美英子(クラリネット)、永嶺貴洋(ヴァイオリン)、増山頌子(チェロ)、河内仁志(ピアノ)

好評発売中 1,000円 主催:フューニエール、(公社)大阪交響楽団 自由席

W S U E 212-805

CLASSIC
大ホール

フィルハーモニー・オーボエ・カルテット with 佐渡裕(ナレーター)

5月8日(日)

オミクロン株の感染拡大にともないアーティストの入国が難しくなったため、大変残念ながら公演中止といたします。公演を心待ちにしてくださっていた皆様にはお詫び申し上げます。

中止

OPERA
大ホール

NISSEY OPERA

『セビリアの理髪師』12月3日(土) 開演14:00

ミニコラム ~伯爵と理髪師~

ロッシ二幕一の人気作オペラ、コミカルでスパイスの効いた恋の物語『セビリアの理髪師』の上演が決定しました。さっそく物語の中心となる伯爵が、理髪師フィリポに「オペラ歌手」について素朴な疑問を投げかけています――

伯爵:フィガロや、世慣れたそちに聞きたいことがある。
理髪師:これはこれは、アルマヴィーヴァ伯爵、何も言いますまいな「セビリアの理髪師」のあらすじをお話しすればよいのでしょうか?
伯爵:いやいや、そではないのだ。
理髪師:では、それは一体なんをお知りになりたいのです?
伯爵:そもそもオペラ歌手は、どうやってなるのか?
理髪師:さてさて、変わったことに興味がおありで、

伯爵:しかし、これまでオペラの先生や教室に出くわしたことがないぞ?ここで学ぶのだ?
理髪師:音楽大学の声楽科に入学してから、本格的に学び始める者が多いですね。関西にはオペラコースのある大学がいくつかあり、学内にオペラハウスを持っているところもございます。

伯爵:それで、プロになるには?
理髪師:大学卒業後に海外留学する者も稀にありますが、一般的には卒業後にオペラ団体のオーディションを受けて新研修生になり、まず数年間勉強いたします。そこからさらにオーディションに合格すればオペラ団体に所属することができ、その団体の舞台上に立つ資格が手に入るわけです。作品ごとにオーディションを受けて、所属団体以外の舞台上立つチャンスもありまして、今回の「セビリアの理髪師」もそうですが、日生劇場のオペラはその代表で、団体の垣根を超えて色んな才能が集まります。

伯爵:やはり狭き門なのか?
理髪師:そうですね、誰にも目指せるポジションとはいえませんが、この世界も同じですが、プロになっても安定的に活躍できる人はひとりに限りていきます。
伯爵:歌だけでなく、ダンスも芝居もできないのはなぜなのか?
理髪師:オペラではダンサーは別におりますので、歌には必ずしも本格的なものは求められないように、もししながら、芝居は別でございませう。歌ができるだけではやはりオペラ歌手としては、芝居も大学でまっさら学ぶのさ。
伯爵:芝居の練習という、演劇部や劇団にするような?
理髪師:音楽家であるオペラの芝居には特徴があります。それは、必ずオーケストラの指揮者を視界に入れたら演じるということ、それゆえ、歌い手が舞台の上で後ろを向くことはほとんどありません。(笑)

伯爵:ほう、そうか! ほかには「オペラ歌手あるある」はありますか?
理髪師:無意識のレベルで「歌いグセ」が身についておられます、普段の生活でもつい、歌手独特の発声や顔の筋肉の動かし方をしています。電話越しに「あくびをしながらしゃべっていますか?」と聞かれたらどうか。あはは……。

伯爵:歌手はみな、イタリア語が達者のだろうか?
理髪師:それでございます。イタリア語の正しい発音についてはしっかり勉強いたしますが、あくまで歌のためであって文法などは半ばぬめり、会話とはまた別でございます。

伯爵:なるほど、実は、さるメゾ・ソプラノ歌手の娘に一目惚れしてしまっている。なんとか想いを伝えたいのだが、手伝ってほしい。
理髪師:この「なんとでも」にお任せあれ。それには、伯爵の身分を隠して……。

2人のおひめは続きます。

(注)オペラでは、オーケストラは舞台前方の「オーケストラピット」で演奏します。

W S U E CN については裏表紙をご覧ください

●最新の公演情報はフューニエールHPをご覧ください ●都合により、公演・公演内容が変更になる場合がございます ●掲載情報は3月23日現在

チケットを購入する



多目的室

まずはここから! ひるらくご

【第1回】4月28日(木) 【第2回】5月12日(木) 【第3回】6月23日(木) 各回開演13:00

初心者さん、大歓迎! 生の落語体験をお楽しみあれ。

若手〜中堅の人氣落語家を中心に、さまざまな角度から落語の魅力をお伝えます。

落語を聞き慣れていない方向けの解説コーナーや、お楽しみ企画なども、お気に入りの落語&落語家を見つけてください。

出演:【第1回】桂かい枝、小佐田定雄 ほか 【第2回】林家栄左、笑福亭喬介 ほか 【第3回】桂阿か枝、旭堂南龍 ほか

好評発売中 1,500円 主催:フェニーチェ堺 自由席



鶴橋公園(雨天の場合は大スタジオで実施)

親子でおどろろ in 鶴橋公園

5月5日(木・祝) 開始11:30 受付開始11:00

ココロもひのび青空ダンス! ダンスはきっと、あなたのそばにあるはずです。

私たちといっしょに、見つけてみませんか? 気持ちいい青空の下で、カラダをひのび動かせば、ココロはほずみ始めます。おいしい空気を吸いながら、楽しいひととき過ごしましょう。 講師:セノグラフィカ(振付家・ダンサー)



Photo: Ai Hirose

申込受付中 大人1,000円 子ども(小学生)500円 主催:フェニーチェ堺 ※来場者先払い無料 ※料金は当日お支払いください。



文化交流室 ほか

フェニーチェ堺deスケッチvol.4

7月16日(土) 開始14:00(予定)

好評のシリーズ第4弾! お絵描き好きな子、フェニーチェ堺に集まれ!!

NHK「趣味悠々」やTBS系「プレバト!!」水彩画査定でお馴染みの野村重存先生が色鉛筆画のコツを分かりやすく教えてください。 対象:小学生および保護者

申込受付:近日開始 イベント詳細は決まり次第発表 2,000円 主催:フェニーチェ堺



大スタジオ

フェニーチェ演劇解体新書vol.1

「登場!人物!全員!悪人!講座」(全3回)

【第1回】7月23日(土) 【第2回】8月6日(土) 【第3回】8月7日(日) 各回開演14:00(予定)

リチャード三世、マクベス、メッシー・メッサー。いつの時代の演劇にも魅力的な悪人がいた。

あらゆる名作戯曲の中から悪人を抜粋し、そのテキストを元に「どうやって悪人を演じるか」を突き詰めていく演技ワークショップ。人を殺めたことのない俳優はどうやって人殺しを演じるのか。

悪人だけを演じ続ける三日間! 講師:藤井風太郎(俳優・作家・演出家)



申込受付:5月中旬頃予定 一般3,000円 主催:フェニーチェ堺

W S + については裏表紙をご覧ください

●最新の公演情報はフェニーチェ堺HPをご覧ください ●都合により、公演・公演内容が変更になる場合がございます ●掲載情報は3月23日現在

チケットを購入する



多目的室

和太鼓ワークショップ教室 堺太鼓

4月27日(水)、5月4日(水)、11日(水)、18日(水)、

6月1日(水)、8日(水)、15日(水)、22日(水)、29日(水) 全9回 各回開演18:00(予定)

発表会:6月25日(土) 開始18:00(予定) 大スタジオ

【指導】和太鼓奏者 莺 純子 【対象】男女3歳〜大人 【定員】20名 【参加費】無料

※バチ購入1,800円、保険料800円は各自負担ください

【申込締切】4月20日(土)必着 申込方法等に関するお問い合わせ:072-232-8596(堺太鼓) 主催:堺太鼓 共催:フェニーチェ堺



小ホール

ピアノがもっと好きになる! 原 由莉子 ピアノ&トークコンサート【第1回】

8月19日(金) 開演14:00

大作曲家が遺した、数々のピアノ/お稽古の定番曲。ただ練習曲として聴くだけではもったいない!

曲の誕生した背景や作曲家の想いを知れば、もっと聴きたくなる! もっと弾きたくなる!

第1回目はシューマン「子供の情景」、ブルグミュラー「25の練習曲」の魅力をお届けします*

詳細は決まり次第HPにて発表 一般:2,000円 学生:1,000円 主催:フェニーチェ堺



©TAKASHI JIN

堺市文化振興財団の地域に根ざした取り組み

堺市文化振興財団では、堺市内の小中学校・こども園、子育て広場、病院・福祉施設、子ども食堂といった地域の様々な場所で、コンサートやワークショップを実施しています。クラシック音楽、オペラ、絵画、造形、能楽、バレエ、ダンス等、多様な芸術ジャンルの芸術家と連携して企画を行います。また、堺市新進アーティストバンクに登録する若手芸術家の活躍の場でもあり、登録者に向けた研修プログラムと共に、地域社会に貢献できる優れた芸術家の輩出を目指して日々事業に取り組んでいます。

実施報告

まるくわをかく「おどろ」ワークショップ/市内各施設

1月20日〜23日の4日間、福岡からダンサーのマニアさんをお招きして、コンテンポラリーダンスワークショップ「まるくわをかく」を開催しました。

初日は、早いずバスケットチーム(SAKAIsuns)と共に、マニアさん自身も競技用車いすに乗って全員でダンスを作りました。二日目には、子連れ交流スペース(さかいこひろは)で赤ちゃんとその保護者の皆さんと一緒に、日頃の赤ちゃんの好きな動作から出発して、のびのび身体を動かしました。最後は、老若男女どんな方でもどうぞ!とフェニーチェ堺にお迎えしてダンスワークショップを行いました。身体が硬くてもリズムが苦手でも、誰もが自分のダンスを見つられるように進めてくれたマニアさん。終わった後はみんな笑顔でした。

コンテンポラリーダンスには決まった振付がありません。マニアさんのダンスには、その場に集まった人がそれぞれ、自分らしい動き、自分自身が好きな動きを、自分から自然と見つけていくような「自由さ」がありました。年の差や身体の特性にとらわれことなく、それぞれが自分の身体を感じ、人とつながっていく優しい時間でした。



三好長慶

桐



ふれる堺。

堺を重要拠点とし活躍した、今年生誕500年の三好長慶。
將軍を放逐し、畿内を支配する「天下人」となり、織田信長に
大きな衝撃と影響を与えた武将の人間像を、
三好一族研究の第一人者、天理大学准教授の天野忠幸先生に伺いました。

三好長慶はどのような人物だったと思われますか？

彼の性格は分らないことが多いですが、連歌が大好き、しかもプロ級で多くの歌を残しています。そうした歌から性格を読み取ると、まず素直でとても品が良い。慎重で熟考するタイプですが、下した決断は大胆不敵です。首都京都と当時「天下」と呼ばれた畿内を、足利將軍家を擁立せず支配する、という誰も考えつけないことを実行に移すなど、果敢^{こころづ}な一面もある人です。

※1 果敢^{こころづ} ためらわずに思い切ったこと。その態度。

当時周囲の人から、どのような人として見られていましたか？

三好家は元々阿波(徳島)の出身で、阿波衆は戦が強いと評判でした。当時は、家柄が重要とされる社会でしたが、三好氏は阿波守護(徳島県知事)の細川氏の家臣に過ぎませんでした。しかし、長慶は家柄をもとめず、日本全国六十六ヶ国のうち、十三ヶ国を治めるまで勢力を拡大させます。尊敬する人もいれば、やっかむ人もいました。しかし、長慶の死後に描かれた肖像像からは、「北極星のように世の中の指針となる人」だったと書き残されるほど、賞賛されています。

長慶は、將軍足利義輝を近江に放逐し、後奈良天皇や正親町天皇の良き相談相手となりました。

將軍と戦った「從四位下」という官位も与えられましたが、長慶は若い頃から天下を取るつもりで動いていたと思いますか？

私達は、戦国時代はすべての武将が全国統一を目指して戦っていた、というイメージを持っています。しかし、最近分かってきたのは、近隣の数ヶ国を制圧するという戦争はしていたが、室町幕府を滅ぼし全国統一まで考えていた武将はいなかったということです。そうした中で、長慶は首都の靜謐^{しやうへい}を一番に心がけていました。応仁の乱以来、機能不全に陥っていた幕府の再興を目指します。ところが將軍足利義輝はそんな

長慶を疎ましく思い、暗殺を何度も企て、戦いを挑みます。長慶は報復せず、將軍として職務を果たすよう諫めましたが、事態は変わりません。そこで、長慶が義輝を放逐し、將軍の仕事を行っていくうちに、支配者としての自覚が徐々に芽生えていく。畿内の人々も、將軍なしで三好家が世を治められることに気づいていくという感じでした。

※2 靜謐^{しやうへい} 世の中が穏やかに治まること。太平。

信長や秀吉のような資質をしたエピソードや破天荒な逸話がありますか？

残念ながらもちろんありません。弟の三好実休は、茶の湯のいし、有名な刀剣のコレクターでした。長慶は愛好する連歌では、武士だけでなく、町人や僧侶も様々な階層の人と交わって楽しんだようですが、茶会はありませんでした。小説や漫画の主人公には、派手な話や破天荒なエピソードが必要ですが、それが無いので見栄えがせず、なかなか取り上げてもらえないですね(笑)。



天野忠幸

一九七九年、神戸市生まれ。大阪市立大学大学院文学研究科博士課程修了、博士(文学)。二〇一六年より天理大学文学部教授。著書に「戦国期三好政権の研究」(清文堂出版)、「三好長慶」(ミネルヴァ書房)、「三好一族と織田信長」(光文社出版)、「松永久秀と下剋上」(平凡社)、「室町幕府分断と畿内近国の動向」(吉川弘文館)などがある。

長慶は病死したとされていますが、死因は判明していますか？

精神を患って亡くなった、と語られることもありますが、正確なことはわかりません。有吉佐和子さんが認知症をテーマとした小説「恍惚の人」を執筆しましたが、このタイトルは、江戸時代末期に頼山陽といふ国学者が「日本外史」の中で、長慶は「老いて病み恍惚として人を知らず」と評したことから採られたとされています。有吉さんの小説が大ヒットしたことで、長慶はそのようにイメージされるようになったのです。しかし、戦国時代の古文書や古記録では、何の病気だったかはわかりません。実際に亡くなる一、二週間前には、キリスト教の宣教師に布教を認めるなど、重要な決断を下しています。

長慶は堺の街と人をどのように捉え、影響を与えましたか？

長慶は城下町のような極集中型の都市を作ることこそせず、政治の拠点は京都に近い芥川城(高槻市)や飯盛城(大東市、四條畷市)に置く一方、経済や文化の重要拠点として堺を重視し、商人や僧侶など民間の力をうまく活用し統治しました。その堺の代表者である合衆家は、自治組織で武士の支配を受けなかった、とよく言われていますが、実際は今でいう超団連のような団体で、長慶とは蜜月関係にあり、共存共栄していたようです。長慶は堺の発展を考え、民間貿易の振興をはかり、海外と交流のある商人を保護しました。



また三好家は堺に複数の寺院を建立し、それらと深い関係を持っていました。長慶が父・元長を供養するために建てた南宗寺。弟・実休を弔うために合衆家の油屋家が建てた妙国寺。長慶のライバルであった三好政長を祀った善長寺。特に、自害した元長を最後まで守ってくれた願本寺には恩義を感じ、手厚く保護しました。堺の寺は、ほとんど町人が建立したもので、他の武將が建てた寺がないことから、堺と三好氏の縁が深いことがうかがえます。

三好長慶年表	
長慶は数々の健康をなしたげたと自ら問わす。	
歴史の隙に埋れてきました。近年天竺先生の研究などから徐々に人と注目を集めてきました。関西には多くの長慶の足跡が残っていますので、書物を片手に長慶の人生を巡るお散歩を楽しんではいかがでしょうか。	
1522年	1歳
1532年	11歳
1533年	父元長が堺の顯本寺で自害し、家督を継ぐ
1533年	父の隠微城川詣元にはえる
1539年	摂津の越水城を築き市町の城主になる
1543年	江口大庵忠の戦いで美濃川市に勝利する
1553年	將軍足利義滿を近江に追放し、足利將軍家を擁さず京都を支配する
1556年	父元長の二十五回忌法要を顯本寺で行う
1556年	堺に南宗寺を建立する
1557年	正親町天皇より相模元年、年号が弘治から永禄に改まる
1558年	河内と大和を平定し、飯盛城・実宗寺・四天王寺を屠城とする
1560年	芥川城・高麗寺を早稲川に任せる
1561年	將軍より稱の御教の使用を許可される
1562年	讃岐や和泉を拠点としていた弟の十河存存が病死する
1564年	阿波や河内南部を拠点としていた弟の三好実休が病死する
1566年	教興寺八尾町の戦いで眉山・高政に勝利する
1566年	一尾子川の義興が病死する
1566年	飯盛城で病死する
1566年	真觀寺八尾町で長慶の葬礼が営まれる
1566年	大徳寺教興院(京都府)の建立が始まる
1566年	三好実休を用いたため、堺に四國寺が設立される